

# 知的財産戦略に関する取り組み状況について

平成17年2月18日

農林水産省  
農林水産技術会議事務局

# 産学官連携を通じた知的財産の有効活用

## 全国レベル

### 趣旨

大学、独法、関連企業などが一堂に会し、技術移転、事業化、市場開拓などのビジネスチャンスを作るための交流の場を提供。

### 概況

- ・出展者数：58団体
- 内訳 民間企業24
- 大学14
- 都道府県4
- その他2
- 主催者関係14

- ・一般来場者数  
約2,100名



## 地域レベル

昭和59年から、地方農政局、地域農業研究センターを中心に、各地域における産・学・官の連携の場を設置。

地域	地域組織等の名称	事務局	16年度シンポジウム参加実績
北海道	グリーンテクノバンク (NPO法人)	北海道農業研究センター	11月29日 約240名
東北	東北地域農林水産・食品ハイテク研究会	東北農政局	11月1日 約190名
関東	関東地域バイオテクノロジー懇談会	関東農政局	-
北陸	はっと!net	北陸農政局	-
東海	東海地域生物系先端技術研究会(17年3月NPO法人化予定)	東海農政局	12月7日 約220名
近畿	近畿地域農林水産・食品バイオテクノロジー等先端技術研究推進会議	近畿農政局	12月2日 約470名
中国四国	中国四国地域農林水産・食品産業先端技術研究協議会	中国四国農政局	12月9日 約150名
九州 沖縄	九州バイオテクノロジー研究会	九州農政局	11月26日 約280名

# 産学官連携マッチングの事例

京都府農業資源  
研究センター

+

民間企業

ハウレンソウなど野菜の病気を防ぐ  
機能がある乳酸菌を使った微生物農  
薬の開発

民間企業

+

東京農業大学

(独)農業・生物系特定産業  
技術研究機構北海道農業  
研究センター

農林水産系廃棄物(ホタテガイ貝殻、鶏糞、  
間伐材等)を原料として、肥料としての機能  
もあわせ持つ農地用融雪材の開発

宮崎大学

+

大阪府立食とみどりの総合技術センター  
兵庫県立農林水産技術総合センター  
広島県立畜産技術センター  
滋賀県農業総合センター

(独)家畜改良センター

東京農業大学  
日本女子大学  
帯広畜産大学

光ファイバ法といった光学評価技術等の肉質評価  
法を改良しながら和牛肉の特性や食味との関係を  
解明し、生産現場における品質制御技術を開発

# 農林水産分野における知的財産取得（最近の事例）

平成16年12月、日本を中心とした国際コンソーシアムによりイネゲノム塩基配列の完全解読を達成

併せて約3万2000の完全長cDNA、約5万のミュータントパネルなどの研究リソースを蓄積し、特許についても積極的に取得

## イネ遺伝子の単離及び機能解明の進捗情報

遺伝子の機能	特許(出願中を含む)			利用研究
	単離した遺伝子の機能	特許数	合計	
病虫害	いもち病抵抗性	1	5	・遺伝子組換えによるいもち病抵抗性系統作出と抵抗性機作の解明
	白葉枯病抵抗性	2		
	その他の病害抵抗性	2		
ストレス応答	高温・低温耐性	2	5	・遺伝子組換えによる抵抗性系統作出と前処理による耐性付与機構解明
	耐塩性・耐乾燥性	3		
形態・生理機能	脱粒性・穂発芽抑制	1	26	・遺伝子そのものをマーカーとした出穂時期の異なる系統群の育成 ・遺伝子組換え半わい性系統作出による草型育種 ・受光体勢の改善による光合成効率の向上
	出穂時期制御	9		
	わい性	8		
	葉の形態制御	2		
種子品質	形態と収量の制御	6	4	・遺伝子組換えによる機能性米の開発 ・低アレルギー米の育成・利用
	タンパク質発現抑制	1		
	デンプン合成	2		
基盤技術	低アレルギー	1	19	・組織特異的プロモーター利用による遺伝子組換え体の開発
	酵素反応等	2		
プロモーター等		17		
遺伝子機能特許 合計			59	(平成16年10月末現在)
遺伝子マーカーの特許			2	
手法・プログラムに関する特許等			23	
総計			84	

# TLOによる技術移転活動

- 独立行政法人**
- 農業・生物系特定産業技術研究機構
  - 農業生物資源研究所
  - 農業環境技術研究所
  - 農業工学研究所
  - 食品総合研究所
  - 国際農林水産業研究センター
  - 森林総合研究所
  - 水産総合研究センター
  - 家畜改良センター
  - 水産大学校

**認定TLO**  
**AFFTISアイピー**  
( (社)農林水産技術情報協会)  
平成15年6月認定

・技術評価・選別  
 ・PR・マーケティング  
 ・ライセンス交渉

**民間企業**

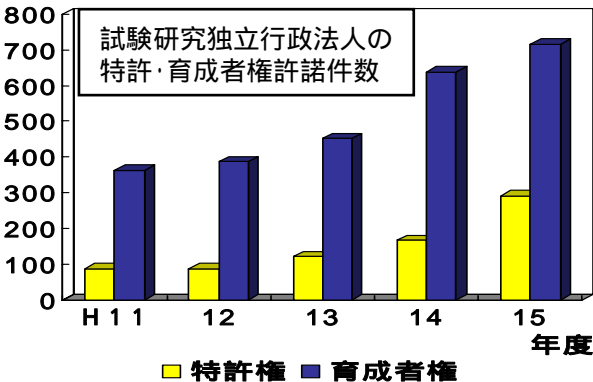
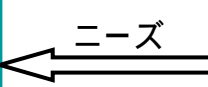
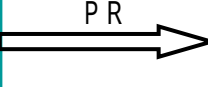
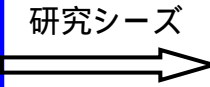
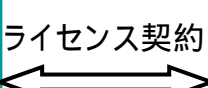
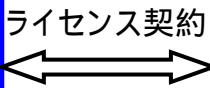
事業戦略

↓

産業化の推進

<例>

- ・脂肪細胞における脂肪分解を促進するために有効な量のイソフラボン類を含有させた食品組成物
- ・生体膜に特異的に作用する新規ペプチド
- ・地下灌漑システム



AFFTISアイピー技術移転実績

	15年度 (6月～)	16年度 (2月1日現在)
許諾特許数	5	55

注: AFFTISアイピーは平成15年6月に農林水産大臣の認定を受けたTLO

# 地域食料産業等再生のための研究開発等支援

